

かんぽ生命ドリームカップ  
第39回全日本バレーボール小学生大会神奈川県大会 競技上の注意

神奈川県小学生バレーボール連盟  
競技委員長 芦澤 治

本大会の競技上の注意は以下のとおりです。なお、参加資格、チーム編成、競技方法等については開催要項に記載されています。事前にご確認いただき、大会に参加するようお願いします。

1. 本大会は、2019年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制の競技規則によるが、リベロ（規則19）は適用しない。また次のような特性を持っている。
  - ・選手はフロントやバックなどの位置による一切の制限を受けずに、自由に動いてプレーすることができる。
  - ・ボールをプレーするときは、ボールが身体の数箇所に連続して接触しても、それが1つの動作中に生じたものであれば許される。
  - ・サービスは、それぞれのセットの初めに、チームごとに決められた順序に従って打ち、サービス権が移行しても、位置によるローテーションはしなくてもよい。
2. 試合は、トーナメント戦で行ない、3セットマッチ追い込み方式とする。  
連続する場合は、最大15分の休憩をとるが状況により競技委員長と審判委員長が協議して決定する。  
また、大会運営上、試合順やコートが変更することもあり得る。
3. 試合に使用するボールは、次のとおりとする。
  - ・男子：モルテン製、 女子：ミカサ製、 混合：モルテン製
4. 選手の健康と安全に配慮して、テクニカルタイムアウトは、給水のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水をさせなければならない。
5. 試合前の公式練習は、有効な構成員（登録された監督・コーチ・マネージャーと選手12名）で行う。
6. ベンチには、必要なもの・飲料水（専用ボトル：ストローの付いたものやふたのできる吸い口のある容器・ペットボトルは不可）・タオル・救急用具以外のものは持ち込まない。応援用のものは不可。
7. 試合中にコートが汗で濡れた場合は、コート上の選手が速やかに拭くこと。  
なお、タイムアウト・セット間の中断時にはコート上をモップがけするようにする。
8. 県大会に出場登録した選手は、そのままのメンバーで全国大会に出場することになるので、チーム編成には十分注意すること。
9. 鳴り物（太鼓、ラッパ、ペットボトル、等）を使った応援は認めない。
10. 応援席は、コートで試合をしているチームが優先とする。
11. のぼりや横断幕は、試合をしているチームのみが掲示できる。開会式ではどのチームも掲示できない。  
また、自チームの試合終了後は速やかにのぼりを倒し、横断幕を外すこと。
12. 上記以外の競技に関することについては、各会場の競技委員長の判断によるものとする。